

# 息抜き散歩道 Vol.10

編集・発行/日本工業大学LCセンター 〒345-8501埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 <http://lib.nit.ac.jp>

## 図書館クイズ

今回は10号ということで、LCセンターにちなんだクイズを出題します。  
LCセンターをぐるぐるまわって、挑戦してみてくださいね。



Q1, このラベルの図書は、何階にありますか？

- a 2階 b 9階 c 後悔



指定図書は授業で使う図書のコーナーです。貸出もしていて、課題が出る時期には多くの利用があります。なお、所蔵は1授業につき1冊ですので、後悔しないよう課題は早めに片付けましょう。

Q3, ●に当てはまる文字は？

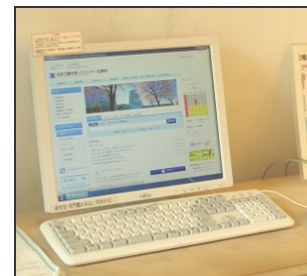
LCセンターの  
学生ボランティアの名称は  
ライブラリー●●●●●

- a 友の会  
b 協議会  
c サポーター

ニュースレターのバックナンバーを見てね。ちなみに友の会も協議会も自治体の図書館に実在します。

Q5, ●に当てはまる文字は？

館内で本を検索するPCの名称は  
「O●●C」です。



- a PE b PA c zo

「オンライン・パブリック・アクセス・カタログ」が正式名称です。石油輸出国機構でもアパレルブランドでもありません。

Q2, 図書の背に貼られている「三段ラベル」は全部で何色でしょうか？



- a 30色 b 15色 c 10色

注：日焼けによる色あせは1色に数えられません。ご注意ください。

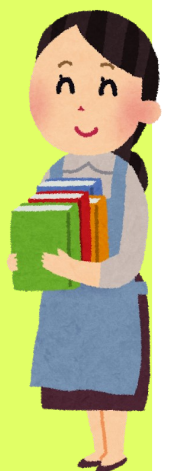
Q4, 他の大学の図書館に行きたいときに、カウンターで発行するのは？

- a 招待状  
b 紹介状  
c 果たし状

招待状を出すのはお招きする人で、訪問する人ではありません。果たし状は、できれば出さないほうがよいですね。

いかがでしたか？

難しかった方も、簡単な方も、さらにLCセンターをぐるぐるしながら、いろんな発見をして、新たなクイズを作ってくださいね。



(q)s0\q+b0  
'(c)ε0\ '(c)z0 '(e)T0 : 昱編

## 貸出ランキング

集計期間：2018年4月1日～2018年9月30日

- 『初歩から学べる確率・統計』統計学教育研究会/編 共立出版刊(10回)
- 『材料強度学』加藤雅治[ほか]共著 朝倉書店/刊(6回)
- 『Oculus Riftでオレの嫁と会える本』桜花一門, ゆーじ/著 翔泳社/刊(6回)

電車で、カフェで、ページをめくっているあの人は、  
どんな本を読んでいるのでしょうか？

# 250文字ブ

## 『サイバー攻撃 ネット世界の裏側で起きていること』 中島 明日香 講談社/刊

081
Bb
2045

配架場所  
2階文庫・新書

日頃、私たちはインターネットを便利に利用していますが、情報流出やなりすまし被害などサイバー攻撃の心配があります。実際、サイバー攻撃による被害のニュースなどを見かけると自分は大丈夫かと不安になるでしょう。では、なぜ攻撃を受けてしまうのか？この本には、サイバー攻撃手法の技術的な仕組みが平易に書かれています。初歩的なプログラミングやWebの知識があれば理解できますし、無くてもある程度は理解することができます。正しい知識を持つことで、安心してインターネットを使いたいですね。

高瀬 浩史（電気電子通信工学科）

## 『読者八読ムナ(笑) いかにして藤田和日郎の新人アシスタントは漫画家になったか』

藤田 和日郎 [ほか] /著 小学館/刊

726.1
F 67

配架場所：7階

「うしおととら」「からくりサーカス」などの漫画のヒット作を生み出した藤田和日郎氏。そんなトップクリエイターが文章で書いたストーリー仕立ての創作論です。本当に面白いものを作り出している人がそのノウハウを惜しげも無く開陳しているわけですから、とんでもなくエキサイティングで、ためにもなります。漫画創作の本ですけど、広くデザインや設計に関わる人は、読んでおいて損はないですよ。藤田さんのところに弟子入りした新人アシスタントになったつもりで、クリエイティブの修行を体感してみてください。

細田 彰一（機械工学科）

## 『僕らの人生を変えた世界一周』 TABIPRO/編 いろは出版/刊

290.9
Ta 12

配架場所：3階

海外に行きたい。冒険したい。でもお金も勇気もない。そんな時は、そう脳の中で“行った気分”になればよいのです。図書館でも、電車でも、ベッドでも、場所はどこでもOKです。この本には、写真あり、巧みな情景描写あり、読むだけで世界中を旅することができます。旅を通して自分を著者と同化させ、“未知との遭遇”をするもよし、時に自分を傍観者に変え、シニカルに“今”を考えるもよし、自由な形での疑似体験は“最高の息抜き”となるでしょう。ふと気が抜けた午後に読むことをお勧めします。学期中のリアル旅は控えて下さいね。

大澤 正久（応用化学科）

## 『人類と気候の10万年史 過去に何が起きたのか、これから何が起こるのか』 中川 毅/著 講談社/刊

081
Bb
2004

配架場所  
2階文庫・新書

福井県水月湖の年縞と呼ばれる、1年刻みで何万年も前の事象を記録している堆積物は年代測定の世界標準になっています。年縞が明らかにしたのは、過去に起こっていた、現代よりもさらに激しい気候変動であり、この本では、そのような気候変動のメカニズムや、その数学的な予測モデルが紹介されています。線形や周期モデルに複雑系を加えた簡単なモデルは、自身で実験してみたいくなる内容になっています。また、年縞堆積物の調査における発見や、過去の周期的な気候変動から未来の気候予測についても、わかりやすく紹介されています。

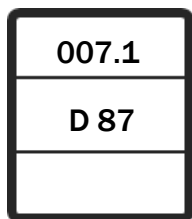
進藤 卓也（電気電子通信工学科）

# ツクレビュー

先生のオススメ本から、  
新たな扉、開いてみませんか。

## 『シンキング・マシン 人工知能の脅威—コンピュータに「心」が宿るとき』

ルーク・ドームル/著 エムディエヌコーポレーション/刊

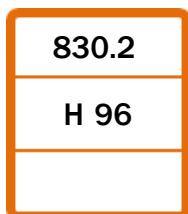


配架場所：3階

最近よくあるAIの脅威を叫ぶ副題が付けられている本だが、原題には副題はついておらず、内容も落ち着いた感じで淡々とAIに関するトピックがまとめられている。AIの歴史から現代のAIアシスタントの機能の紹介やAIがすでにある程度の創造力を得ている話など、AIが現状でできることをまとめている。さらに将来的な技術についても触れられ、AIの危険性については内容の紹介にとどめ、筆者の結論はなく、ただあくまで冷静にAIの可能性について書かれている。とりあえずAIの現状や今後の発展について知見を得たい人に薦める。

田村 仁 (ロボティクス学科)

## 『英語の「なぜ？」に答えるはじめての英語史』 堀田 隆一/著 研究社/刊

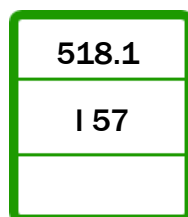


配架場所：8階

タイトルのとおり、はじめて英語史に触れる人のための入門書。徹底的にやさしくわかりやすく書かれている。体系的に構成されているので、興味のある分野から読むことができる。英語の成り立ちは複雑なので、歴史を知らないと納得のいかない文法事項が多い。本書によって多くの『英語の謎』が解ける。読み物としてはバーフィールドの「英語のなかの歴史」のほうがおもしろいが、英語の勉強という視点から見れば、的確に学習者の疑問に答えているといえる。受験が終わり、英語を使えるようになりたいと思っている大学1年生にお勧めしたい。

神林 靖 (情報メディア工学科)

## 『日本の醜さについて—都市とエゴイズム』 井上 章一著 幻冬舎/刊

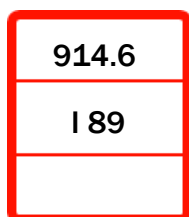


配架場所：5階

伝統的な秩序を基調にした欧州の都市は建築相互が慎み深く尊重し合って美しく、自己主張する新建築がひしめく日本の都市はエゴを晒して醜いと著者は評する。そしてその「事実」は、協調性が高く保守的という日本人像と正反対で、日本人は個人の自由と近代的な自我の獲得に大成功したのだと揶揄する。言い換えると、現代日本の都市風景は、とりわけ戦後日本人の幼稚さ、慎みの無さ、歴史への無理解の反映ということで一々腑に落ちる。そして、失われてきたものの大きさに嘆息してしまう。通学の際、車窓からの眺めを観察しながら読み進めて欲しい。

安野 彰 (建築学科)

## 『犬心』 伊藤 比呂美/著 文藝春秋/刊



配架場所：8階

「飼い主の意思には抗えて」も逆らえない「内なる犬的なもの」を、「犬心」と著者は呼ぶ。彼女は愛犬タケの犬心を見て、嗅ぎ、聞き、書く。犬の目線から人の目線から、タケの全てを書き残す。老犬の介護と老父の介護を同時にこなしながら、命のあり方と向き合うその筆は、時に焦り、乱れ、笑い、悩むが、いつ終わってしまうとも知れない命に急き立てられるように、上のことから下の事情まで書く。私の愛犬が死んで二年になる。その「犬心」が与えてくれもののなんと多いことかと、この本を読んで改めて思う。町田康の解説も秀逸。

山中 章子 (共通教育学群)

## 選書ツアー開催報告

2018年9月18日 三省堂書店神保町本店

書店で本を手に取り内容を確認しながら、LCセンターに置いて欲しい図書を選ぶ「選書ツアー」を開催しました。今回は、参加者8名が計69冊を選書しました。

参加者が選んだバラエティ豊かな図書は、10月22日からの特集展示「先生と先輩がすすめる本」で貸出します。学生のポップにも注目です。ぜひ借りに来てください。



参加者のみなさん

## デジタルサイネージを設置しました。

2018年7月25日より稼働開始

正面入口に入って左手に、縦型モニタが設置されていることにお気づきでしょうか。このモニタは、LCセンターの案内やイベントの告知等をするためのデジタルサイネージです。

タッチパネル式で様々なコンテンツを見ることができます。

また、移動もでき「オープンキャンパス」案内などに活用できます。来館時には、ぜひタッチしてみてください。



正面入口に設置

## 学生のギャラリー利用受付を開始しました。

LCセンター1階のギャラリーでは、様々な展示が開催されてきました。

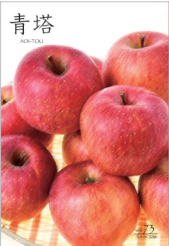
これまでギャラリーの申込は教職員限定としておりましたが、学生の皆さんからも利用希望や問い合わせが寄せられていました。これを受けて、2018年7月2日より、学生のギャラリー利用申込受付を開始しました。応募要項はLCセンターHPの「各種申込（学内者）」よりご確認ください。

さっそく写真部より利用申込みがあり、7月23日（月）～8月4日（土）まで「日工大写真部 夏季展2018」が開催されました。新入生から4年生まで力作が展示され、多くの学生が足を止めて見入っていました。今後も多くの申込、ご利用をおまちしております。



写真部の展示

## 青塔秋号を発行しました。



秋号は、大学生活や研究テーマ、趣味などを中心に、新任の先生方にご寄稿いただきました。LCセンター内で配布しています。ご自由にお持ちください。リポジットリでも公開中です。

## LCセンター2階特集展示

9/18～10/20 「そのゴミはどこへ」  
環境関連図書からゴミ問題を中心に展示します。

10/22～11/24 「先生と先輩がすすめる本」  
250文字ブックレビューの紹介図書と選書ツアー図書を  
を中心に展示します。

## 開館カレンダー

10月 October							11月 November							12月 December							2019年 1月 January						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6					1	2	3							1			1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31		
														30	31												